

## 令和3年度第4回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和3年9月25日（土） 14：00～17：00

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局  
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、伊差川浩之、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、  
田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子

※理事総数：13名、本日の出席理事10名

※三浦重則、太田勇吉、關本正志は都合により欠席

【監事】安原徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※辻監事は都合により欠席

【陪席】二宮正晴（技術委員長）、阿久津貴史（アスリート委員長）  
松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、花田祥之、田中彰子、実島可斉、杉本好二、菅生桃子、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

(1) 第1号議案：アスリート委員会提案事項

(ア) デッドリフト国内ルールのIPF準拠

デッドリフト国内ルールに定めるダウン時の「コントロール」解釈において、世界基準より厳しい条件が付与されており、違反した場合は試技失敗扱いと

されている。阿久津委員長より国際ルールに準拠するよう要望がなされた。会長より、体育館や近隣のクレームに配慮し、寛容性を失いつつある日本国内においても試合会場の手配が容易できる状態を確保するため、ルールについては適切に定められている旨が述べられた。審議の結果、出席理事全員一致で現行ルールが支持された。なお、近日中に技術委員会より「成功・失敗」の動画をホームページにて公開することとなった。

(イ) 重要事項の伝達方法

現在、伝達事項はJPAのホームページに掲載されているが、国際大会の案内など重要情報の確認漏れなど選手の不満に繋がっており、大会要項に記載するなどの方法で選手に通知をする旨の提案がなされた。会長及び事務局長より、ホームページの改良により重要事項がわかりやすい配置とすることや、第3号議案で取り上げる会員登録システムの改修により重要通知を受信確認付メール配信することなどで通知する検討結果が述べられた。また、田中理事よりIT使用ができない選手層への配慮を求める発言があり、事務局による有償の登録代行を国際大会にも拡充することが検討された。審議の結果、ホームページ及び会員登録システムの改修を行うこと及び令和6年度末まで有償の代行登録を行うこと、大会要項等に記載しておくことが出席理事全員一致で承認された。

(ウ) 日本記録の更新タイミングについて

近いタイミングでブロック大会が開催された場合において、日本記録が既に更新されていることに気づかず旧の日本記録に挑戦して認定されなかった事例があり、認定記録の即時性ある公表を求める旨の提案がなされた。二宮技術委員長より、時期により20から30の日本記録を確認、また、複数名でチェックして認定している都合上、リードタイムがどうしても必要である旨の発言がなされた。審議の結果、リードタイムは12日以内としホームページに掲載すること、また、本件をホームページ及び大会要項に記載し周知することが出席理事全員一致で承認された。

(2) 第2号議案：会員登録システム「シクミネット」の改良について

会員登録システムの問題点を解決する改良がなされたため、導入の可否について検討することとした。主な改善点は以下のとおり。

- ・選手、審判など複数IDを一つのIDにまとめられるため、1つのページで全ての支払いが完結するようになる。また、IDは現行の数字のほかメールアドレスでログインすることができ、ID忘れによる問い合わせ及び回答作業が減少する。
- ・インターフェイスの改良でメニュー選択が容易となった。
- ・メール機能が充実され、配信済み並びに開封済みのチェックが可能になる。
- ・決済及び送金手数料は据え置きである。

審議の結果、令和4年度登録分から切り替えること出席理事全員一致で承認された。

(3) 第3号議案：組織委員会委員の委員追加について

高橋委員長より組織委員長を追加のためのプロフィール及び推薦状の提出がなされた。

- ・委員 遠藤健太 宮城県
- ・委員 山根修平 福井県
- ・委員 篠原孝志 福岡県

審議の結果、3名の委員追加について出席理事全員一致で承認された。

(4) 第4号議案：技術委員会よりルール変更について

(ア) 競技のTシャツについて

襟首が大きく開いたTシャツを着用する選手が散見される。ローレットでの怪我予防及び国際大会のコスチュームチェックで問題視されるおそれ、また、見た目の問題などを総合的に勘案し、ルールブックにおいて体格に見合う標準的な襟首を例示することが提案された。審議の結果、出席理事全員一致でルールブックへの追記が承認された。

(イ) 国際審判員の受験資格について

現行規程においては国際審判員養成のため国内2級審判員の資格で国際2級審判員の受験資格が得られる措置がとられている。今後は審判技術向上などの面から国内1級審判員が国際審判員2級の受験資格を得られるよう規程類の見直しをする提案がなされた。なお、公認審判員規程は別途改訂のため本日の議案となっている。規程の当該部位変更を行うものとする。

(5) 第5号議案：令和3年度ガバナンスコード自己公表について

令和3年10月末日までに対応状況をホームページ上で自己公表する必要がある。令和2年度策定時から令和3年9月までの対応状況をまとめて必要事項を追記した自己公表資料が提案された。審議の結果、出席理事全員一致で公表すること承認された。

(6) 第6号議案：北信越ブロック技術委員長の承認

北信越ブロック長より、ブロック技術委員長のプロフィール及び推薦状の提示がなされた。本年6月の登用時には年齢制限を超えた方の提示があり、北信越ブロックにおいては技術委員長不在であった。

- ・北信越ブロック技術委員長 小川光寿 富山県

二宮技術委員長の推薦も取り付けて審議した結果、出席理事全員一致で承認された。

(7) 第7号議案：国際大会派遣の手当類について

団長手当、副団長手当、コーチ手当、帯同審判手当について、趣旨の再確認及び参加者僅少の場合などの赤字対応など、見直しの必要性が示唆された。本件は、再度収支資料を整理し経費精算と分けて考え、他スポーツ団体の状況なども勘案して、継続審議することとなった。

(8) 第8号議案：規程類見直しについて

改訂規程と主な改訂ポイントは以下のとおり

(ア) 常務会規程（改訂）

今後、外部理事の登用などを見据え、理事会の円滑な運営を目指して理事会審議事項の事前協議ができるよう常務会の位置づけを定めた。審議の結果、出席理事全員一致で改訂が承認された。

(イ) 公認審判員選考規程（新設）

ガバナンスコードに求められる審判員の公正・公平な選出について定める規程を新設した。原案においてはテクニカルコントローラは対象外であったが、利害関係を及ぼすことから対象に追記することが議場に諮られた。審議の結果、一部訂正をした公認審判員選考規程案は出席理事全員一致で承認された。

(ウ) 公認審判員規程（改訂）

- ・ガバナンスコードに求められる公認審判員選出規程の実行性の面から、審判員の所属先を都道府県から加盟団体へと改める。
- ・取得可能年齢を18歳以上に引き下げ、高校3年生や大学1、2年生の審判取得を可能にした。
- ・資格失効講習の記述を行い資格失効者の復帰を可能にした。なお、失効講習に関しては年1回とし、1級保有者の場合3年を超えての復帰は年次1級ダウンとし、最大5年までWEB等の講習受講で復帰を可能とする。
- ・公認審判員の肖像権について定めた。

審議の結果、出席理事全員一致で改訂が承認された。

(エ) 選手及び所属団体登録規程（改訂）

- ・実業団連盟の登録を都道府県とすることへ改めた。
- ・国体出場者の登録について別途スポーツ協会規程その他諸規程に従うことを追記した。
- ・選手の移籍について定めた。
- ・選手の肖像権について定めた。

審議の結果、出席理事全員一致で改訂が承認された。

(9) 第9号議案：国際大会派遣選手団及び団長等の承認について

(ア) 世界パワーリフティング選手権大会

開催地：ルーマニア国オラデア市

大会期間：8月22日～8月28日

選手：金子将也（Jr）

(イ) 世界クラシックパワーリフティング選手権大会

開催地：スウェーデン国ハルムスタッド市

大会期間：9月23日～10月3日

団長：佐々木陽一（M1）

選手：岡田佳奈（Jr）、岩城隼人（Jr）、村田侑司（Jr）、藤井優弥（Jr）、大竹優輝（Jr）、河西香南（OP）

※新型コロナウイルスの世界的パンデミックが続いており、国際派遣は困難をきわめており、選手や団長候補者の出場辞退が相次いでいる。今後しばらく国際派遣は流動的にならざるをえず、国際派遣選手団及び団長等の承認については理事会

運営規程第7条2項に基づき追認とする。  
審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(10) その他審議事項及び報告事項

(ア) 利益相反取引の報告

医療法人伯鳳会の理事長を務める古城資久代表理事から、令和3年7月17日に理事会承認された岡山クラシックマスターズパワー大会における売買取引が予定どおり完了したことの報告がなされた。

(イ) 銀行口座について

・ ゆうちょ銀行法人口座において国際送金取引が廃止された。国際大会参加のための国際送金については保有の助成金専用口座を一時的に使用しているが、別途の問題が生ずるため、チャージが安価である楽天銀行の口座を新規開設する。

・ 岐阜アジアパワー大会用に開設した三井住友銀行口座は廃止する。

審議の結果、銀行口座の新規作成及び廃止について出席理事全員一致で承認された。

(ウ) 不服審査委員会経過報告

開催中の不服審査委員会について、指定期日までの反応がなく、開催することが困難になっている状況の報告がなされた。

(エ) 裁判の判決について

判決を受けた裁判については、プロセスを明らかにするため判決文をホームページで公開することが報告された。

(オ) 次回理事会について

12月4日(土) 14時から予定

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は17時に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和3年9月25日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長  
(代表理事)

古城資久



監 事

安原 徹

